会計名称 事業 細事業 款 項 B 平成21年度予算 一般会計 08 02 03 07 01 細事業名 橋梁長寿命化事業

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 ロッキのエク

整理番号 30-4

PLAN					_	担ヨ有の氏名	
	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい安全都市		大木保人		
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 道路ネットワークの整備				
(10)初至中旬日/	施策方針		2 安全・安心で快適な道路網の整備				
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	道路交通の3 かつ予防的なな 修繕計画を策算	安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から、計画的 対応に転換し、橋梁長寿命化によるコスト縮減を図るため、長寿命 定する。	ウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	宇度 ような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		

(何を対象に、 平成21年度 事業の実績 何をしたか)

長寿命化修繕計画策定の基となる橋梁調査を実施

(L=15m以上の102橋において調査)

(実績により、どのような効果 平成21年度 事業の効果

直接的に今年度効果は出てこないが、継続的に橋梁調査を行い長寿命化修繕計画 があったか。できるだけ指標とを策定することにより、橋梁の修繕、架け替えに要する経費のコスト縮減が図れる。

数値で記入)



#### **CHECK**

評価

DO

目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている 0 (少しできていない)

道路管理者として、道路、橋梁を常時良好な状態に保たなければな らないため、長寿命化修繕計画の策定は必要。

× 遅れている(できていない)

#### 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 × 削減の余地があった

生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路を 確保するため必要である。また、業務の発注においても、競争入札等 により経費の削減等も図られ、長寿命化修繕計画の策定後は橋梁の 修繕、架け替えに要する経費のコスト縮減が図れる。

# **ACTION**

改善

事業内容の方向性 A 現状維持

道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必 A B 内容の見直し 理由 要である。 C 統廃合·休止·終了

#### 事業規模の方向性

A 事業拡大 橋梁の修繕、架け替えを行うにあたり、必要性、緊急性を認識する上 理由 B B 現状維持 で必要。 C 事業縮小

#### ● 正成 21 年 使 注 質

	●平成21年度次	<del>开</del>									
	j	歳出			歳入						
		節	節 金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
N		13	5,713		国庫支出金	橋梁長寿命化修繕事業費	2,850				
					府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源内	分担金•負担金						
				訳	その他						
					一般財源		2,863				
	事業費合計		5,713		合計	5,713					

会計名称 款 項 目 事業 細事業 平成21年度予算 一般会計 02 02 80 03 05 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業) (平成22年度) 細事業名 地域活力基盤創造交付金事業(効果促進事業) (平成21年度)

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名

整理番号 30-5

PLAN - 総合計画	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ② 道路ネットワークの整備			大木保人	j
(前期基本計画)	施策方針		2 安全・安心で快適な道路網の整備				
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	社会資本整備 実施し、道路事	情総合交付金事業を活用し、道路事業と一体となって各種の事業を 業効果を一層高める。	平成26年度 事業の効果目	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)		
		•		•			

# 平成21年度 事業の実績 (何を対象に、 地域活力基盤創造交付金事業を活用し、スクールバス、消防車の機能向上整備、宮津和知間有料 何をしたか) 道路利用補助、無電柱化計画の策定、防災広場整備の実施 (実績により、どのような効果 平成21年度

DO

事業の効果

CHECK

数値で記入)

地域活力基盤創造交付金事業を活用し、道路事業と一体となって事業を実施する があったか。できるだけ指標とことにより、道路事業の安心、安全な通行の確保はもとより、地域の活力の向上、活 性化が図れた。



CHECK	目標這	達成度・・・DO(平成21年度事業の実 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか					
		〇 進捗している(できている)							
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)		道路事業の効果を一層高めるため、各種の事業を道路事業と一体となり実施することにより双方の事業成果をあげることができるため、達成度は高い。					
評価		× 遅れている(できていない)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
ат іш	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか								
		〇 削減の余地がなかった							
	0	▲ 少し削減の余地があった	珊山	道路事業と一体となって実施することにより、双方の事業成果をあげることができ、また、工事発注において、競争入札等により経費の削減					
		× 削減の余地があった		ることができ、よた、工事先注において、脱事人代等により経貨の削減 等も図られいる					

ACTION									
ACTION	事業内容の方向性								
		A 現状維持		************************************					
	Α	B 内容の見直し	理由	道路事業と一体となっての実施事業であり、双方の事業効果の向上 のため計画的な実施が必要である。					
改善		C 統廃合·休止·終了		のため自己は160人間は20人にある。					
以告	事業規模の方向性								
		A 事業拡大	理由						
	В	B 現状維持		必要性、緊急性の高い事業より実施し、交付金事業等を有効に活用しながら、両事業の成果向上を図る。					
		C 事業縮小		O.00 O.10 + VANNYLIJT CEI 00					

	● I MC I TRIMA											
	į	歳出			歳入							
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
Ы		9	0		国庫支出金	地域活力基盤創造交付金	54,440					
1		11	112		府支出金							
		12	150	財	起債	過疎·合併特例債						
	予算科目	13	8,938	源内	分担金・負担金							
		14	0	訳	その他							
		17	56,182									
		18	11,389									
		27	75		一般財源		22,406					
	事業費合計	事業費合計 76,846			合計		76,846					

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 02
 03
 05
 01

 福事業名
 社域活力基盤創造交付金事業
 (平成21年度)

 地方道路整備臨時交付金事業
 (平成20年度)

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 大木保人 整理番号 30−6

(前期基本計画)       施策方針       2 安全・安心で快適な道路網の整備         事業の目的       (どのような目的で事業を実施するか)       社会資本整備総合交付金事業を活用し、市道の通行等に支障が生じている路線において、新設、改良、修繕、除雪を実施し、安心、安全な通行を確保する。       平成26年度事業の効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	PLAN - 総合計画	基本方針計画項目	 VI うるおい安全都市 ② 道路ネットワークの整備		大木保人
	(前期基本計画)				
	事業の目的	的で事業を実	精総合交付金事業を活用し、市道の通行等に支障が生じている路線 は、改良、修繕、除雪を実施し、安心、安全な通行を確保する。	平成26年度 事業の効果目標	

DO -			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	 発創造交付金事業を活用し、市道の改良工事、除雪作業の実施 蒲井旭線、神崎南浜線、郷新田岡線、左坂線、安小西線、千丈敷下沖線) (平成20年度繰越 236,870千円)	
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	地域活力基盤創造交付金事業を活用し、市道の改良、除雪作業を実施することにより 生活、産業道路の確保、また、安心、安全な通行の確保が図れた。	

CHECK				<u> </u>						
GHEGIT	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の) 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の						
		効果日標/の達成に向け	し順部	可に進捗したが						
		〇 進捗している(できている)								
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならない ため、達成度は高い。						
評価		× 遅れている(できていない)								
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか									
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確   保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経						
		× 削減の余地があった		株のため必要である。また、工事光注において、競争人礼寺により程    費の削減等も図られいる						

ACTION -				<u> </u>					
AUTION	事業内容の方向性								
		A 現状維持		学の生理者に マーウン ウムシギのかにのた は引売的を中性だり					
	Α	B 内容の見直し	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必 要である。					
改善		C 統廃合·休止·終了		2 (0) 00					
以告	事業規模の方向性								
		A 事業拡大	理由	2. 五世 · 四名世 · 文 · 文 · 文 · 文 · 文 · 文 · 文 · 文 · 文 ·					
,	Α	B 現状維持		必要性、緊急性の高い道路より実施している。交付金事業等を有効					
		C 事業縮小							
	改善	事業(A 及善事業)	改善       事業内容の方向性         A 現状維持       B 内容の見直し         C 統廃合・休止・終了       事業規模の方向性         A 事業拡大       B 現状維持	改善       本 現状維持       理由         C 統廃合・休止・終了       本 事業拡大         A 男状維持       理由					

	● I MC I TIZM										
	j	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
Ы		2~10	4,261		国庫支出金	地域活力基盤創造交付金	218,293				
1		11	1,712		府支出金						
		12	0	財	起債	過疎·合併特例債					
	予算科目	13	13,002	源内	分担金・負担金						
		14	1,500	訳	その他						
		15	309,868								
		17	36,157								
		22	11,789		一般財源		159,996				
	事業費合計	<b>工業費合計</b> 378,289			合計 378,						

 中成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 02
 03
 04
 01

 細事業名
 過疎対策道路整備事業

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 整理番号 30-7

PLAN 。 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ② 道路ネットワークの整備			大木保人
(削别基本計画)	施策方針		2 安全・安心で快適な道路網の整備			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	過疎指定地域 備を実施し、安	成において、市道の通行等に支障が生じている路線の拡幅、側溝整 心、安全な通行を確保する。	平成26年 事業の効果		

1

DO

平成21年度 事業の実績 (何を対象に、何をしたか) 過疎指定地域における、市道の新設改良工事 (峠線、須田区内線、湊宮線、栃谷口馬地線、島区内線、後ヶ浜海岸線)の実施 (平成20年度繰越 17,651千円) 平成21年度 事業の効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)

# 1

#### **CHECK** 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならない ▲ 少し遅れている 理由ため、達成度は高い。 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経 × 削減の余地があった 費の削減等も図られいる

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		学の生理者に マーウシーウムを学のかになると は引売がか中性 バン				
	Α	B 内容の見直し	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必 要である。				
改善		C 統廃合·休止·終了						
以告	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		シェル 阪名州の言い学取しU中华Lマルス ゼル末米ゲナブロ				
	В	B 現状維持	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。補助事業等を活用し ながらの実施が必要。				
		C 事業縮小						

	●「然と「干及人									
١	歳出				歳入					
ı		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
М		11	1,054		国庫支出金					
1		13	6,223		府支出金					
١		15	51,019	財	起債	過疎対策道路整備事業債(過疎債)	63,000			
١	予算科目	17	3,272	源内	分担金·負担金					
١		22	1,492	訳	その他					
١										
١										
١					一般財源		60			
İ	事業費合計		63,060		合計		63,060			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 02
 03
 03
 01

 細事業名
 辺地対策道路整備事業

担当部局建設部担当課等担当課長の氏名土木課川戸孝和担当者の氏名大木保人

整理番号 30-8

PLAN 学 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	 VI うるおい安全都市 ② 道路ネットワークの整備		大木保人
\ <u> </u>	施策方針	2 安全・安心で快適な道路網の整備		
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	域において、市道の通行等に支障が生じている路線の拡幅、側溝整 心、安全な通行を確保する。	平成26年度 事業の効果目	

4

DO

平成21年度	(何を対象に、	辺地指定地域における、市道の新設改良工事(市道前川原新治線 峰山町 五箇 地内)の実施	
事業の実績	何をしたか)	(平成20年度 繰越)	
<u> </u>	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	のような効果 ・るだけ指標と 生活、産業道路の確保、また、安心、安全な通行の確保が図れた。	

#### CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならない 理由ため、達成度は高い。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経 × 削減の余地があった 費の削減等も図られいる

ACTION				<b>—</b>				
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		*************************************				
	Α	B 内容の見直し	理由	道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必 要である。				
改善		C 統廃合·休止·終了	Ī	g (m) 0.				
以書	事業規	規模の方向性						
	В	A 事業拡大		2 T. M. M. C.				
		B 現状維持	理由	必要性、緊急性の高い道路より実施している。補助事業等を活用し ながらの実施が必要。				
		C 事業縮小	Ī	.6N 507 XI XI XI XI				

	- 1 WC 1 T IZ IV A								
١	j	裁出				歳入			
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)		
Ы		15	14,663		国庫支出金				
1					府支出金				
				財	起債	辺地対策道路整備事業債(辺地債)	14,600		
	予算科目			源内	分担金·負担金				
				訳	その他				
					一般財源		63		
İ	事業費合計		14,663		合計		14,663		

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 02
 03
 01
 01

 細事業名
 道路新設改良事業

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 大木保人 整理番号 30-9

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ② 道路ネットワークの整備			大木保人
(明炀圣平时四)	施策方針		2 安全・安心で快適な道路網の整備	_		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	市道の通行等 心、安全な通行	等に支障が生じている路線において、拡幅、側溝整備を実施し、安 テを確保する。	平成26年 事業の効果		

平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	市道の新設は	女良工事(16路線)の実施	(平成20年度繰越 290,401千円) (森本工業団地内路線を含む)
生 羊 (1) 切里	(実績により、と があったか。で 数値で記入)		市道の通行に支障の生じまた、安心、安全な通行の	ている路線を改良することにより、生活、産業道路の確保 確保が図れた。

#### CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならない 理由ため、達成度は高い。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由保のため必要である。また、工事発注において、競争入札等により経 × 削減の余地があった 費の削減等も図られいる

ACTION				<b>—</b>				
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		道路管理者として、安心・安全な道路確保のため計画的な実施が必				
	Α	B 内容の見直し	理由	要である。				
改善		C 統廃合·休止·終了						
以금	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		以西州 取名州の古い学明 LU中本 マルフ キシャルボナギロ ト				
	В	B 現状維持	理由	め要性、緊急性の高い道路より実施している。有利な財源を活用しながらの実施が必要。				
		C 事業縮小		10 30 X/10 10 X 10				

	<b>▼</b> 1,821+12,034									
	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		9	172		国庫支出金					
1		11	652		府支出金					
		13	3,974	財	起債	道路改良事業債(合併特例債)	333,400			
	予算科目	14	516	源内	分担金·負担金					
		15	344,547	訳	その他					
		17	1,780							
					一般財源		18,241			
	事業費合計		351,641		合計		351,641			

会計名称 款 目 事業 細事業 項 平成21年度予算 一般会計 08 02 02 02 01 市道維持補修事業 細事業名

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名

整理番号 30-10

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		<ul><li>Ⅵ うるおい安全都市</li><li>② 道路ネットワークの整備</li></ul>			大木保人
(削别基本計画)	施策方針		2 安全・安心で快適な道路網の整備			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	市道の老朽化 持補修を実施す	ヒ及び経年損耗等により、通行等に支障が生じている道路施設の維 する。	平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

DO

(何を対象に、

何をしたか)

市道の修繕工事等(162箇所)の実施 (平成20年度繰越 4.190千円)

市道の老朽化及び経年損耗等により支障の生じている道路施設を補修することに (実績により、どのような効果 平成21年度 があったか。できるだけ指標とより、安心、安全な通行の確保が図れた。 事業の効果 数値で記入)

**CHECK** 

評価

平成21年度

事業の実績

目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている 0 (少しできていない)

道路管理者として、道路を常時良好な状態に保たなければならない 理由ため、達成度は高い。

× 遅れている(できていない)

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

理由

〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 × 削減の余地があった

生活、産業道路として、市道の位置づけは高く、安心・安全な道路確 保のため必要である。

**ACTION** 

改	津

事業内容の方向性 A 現状維持 A B 内容の見直し 理由 道路管理者として、安心・安全な道路確保のため必要である。 C 統廃合·休止·終了

事業規模の方向性

A 事業拡大 必要性、緊急性の高い道路より実施している。計画的に行っていか 理由 なければならない道路については、補助事業等の導入の検討も必要。 A B 現状維持 C 事業縮小

●十灰21十皮次昇										
	歳	出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
		11	24,086		国庫支出金					
		12	10		府支出金					
	14 80	801	財	起債						
予算科目	1	15	7,601	源内	分担金・負担金					
		16	9,915	訳	その他					
					一般財源		42,413			
事業費合	計		42,413	合計			42,413			

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 01
 01
 01

 細事業名
 土木総務一般経費(補助金分)

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 整理番号 30-11

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 計画項目 施策方針		VI うるおい安全都市         ② 道路ネットワークの整備         2 安全・安心で快適な道路網の整備			大木保人
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	地域経済の活 行った経営基型	舌性化や雇用の安定を目的として、市内に本店をおく建設業者が 盤強化、新分野進出の事業に対して補助金を交付する。	平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

DO

2業者に対し、新分野への進出及び経営基盤強化補助

平成21年度 事業の効果 (実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と

(何を対象に、

何をしたか)

平成21年度

事業の実績

**CHECK** 

評価

2業者に補助したことにより、新分野への進出による雇用の確保、及び、商品価格の

があったか。できるだけ指標と抑制により、経営の安定化が図れた。

数値で記入)



目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

O 進捗している(できている)

▲ 少し遅れている
(少しできていない)

× 遅れている(できていない)

新分野への進出に補助することにより、雇用の確保が図れ、また、商 理由 品の開発等に補助することにより、商品価格の抑制につながり、経営 の安定化が図れた。

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

理由

〇 削減の余地がなかった

▲ 少し削減の余地があった× 削減の余地があった

補助目的を達成しており、継続的な実施が必要

利用のない年度もあり、制度のPRが今後も必要

ACTION 事業内容の方向性 A 現状維持

A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了

0

事業規模の方向性

 A 事業拡大
 事業利用者は少ないが、1利用者に対する補助額は大きい。

 B 現状維持
 理由

 C 事業縮小
 予算的なバランスが難しく、現状維持で推移

١	j	歳出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		19	2,319		国庫支出金					
1					府支出金	未来づくり交付金	1,159			
				財	起債					
	予算科目			源内	分担金·負担金					
				訳	その他					
					一般財源		1,160			
	事業費合計	2,319			合計		2,319			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 06
 01
 01
 01

 細事業名
 アメニティー久美浜整備事業

担当部局
建設部
担当課等
担当課長の氏名
土木課
川戸孝和
担当者の氏名

整理番号 31-3

PLAN 総合計画	基本方針		Ⅵ うるおい安全都市	担当者の氏名 大木保人
(前期基本計画)	計画項目 施策方針	(施策)	③ 河川·海岸·港湾の整備 1 河川·海岸の整備	
事業の目的		本計画により 一区の街並み3 活性化を図る。	、歩道連絡橋、駐車場、緑地公園、排水路等の整備を行い、久美浜 環境整備事業と一体的に環境整備を行い、久美浜港周辺市街地の 事業の効果	年度 果目標 ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)

平成21年度 事業の実績 (何を対象に、何をしたか) 本整備計画の最終となる、トイレの新設工事を実施。 (平成20年度繰越 24,852千円) 本整備計画の最後となるトイレ新設、今年度は繰越となったがこれまでの整備実施があったか。できるだけ指標と数値で記入) により、久美浜港周辺市街地の活性化が図れた。

#### **CHECK** 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 他事業の街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことによ ▲ 少し遅れている 理由 り、久美浜港周辺市街地の活性化を図れている。 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことにより、両事業 0 理由 のコスト縮減が図られている。 × 削減の余地があった

ACTION				<b>—</b>				
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
	С	B 内容の見直し	理由	次年度へ繰越完成、終了				
改善改善		C 統廃合·休止·終了	Ī					
以普	事業	規模の方向性						
		A 事業拡大						
		B 現状維持	理由					
		C 事業縮小	Ī					
•								

	●十次乙十十段次昇									
	į	裁出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
М		9	33		国庫支出金					
1		11	111		府支出金					
		12	1	財	起債	過疎債	26,400			
	予算科目	13	1,207	源内	分担金·負担金					
		14	120	訳	その他					
		15	24,852							
		19	164							
					一般財源		88			
	事業費合計	26,488			合計 26					

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 03
 03
 01
 01

 細事業名
 河川改修事業

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 大木保人 整理番号 31-4

- PLAN - 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		Ⅵ うるおい安全都市 ③ 河川·海岸·港湾の整備		大木保人
(III)	施策方針		1 河川・海岸の整備		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	災害·事故等	を未然に防止するため、河川施設の改修を行う。	平成26年度 事業の効果目	

1

DO

平成21年度	(何を対象に、	市管理河川2路	線において、護岸工事及び水門設備設置を実施した。
事業の実績	何をしたか)		(久美浜町 家の奥川、弥栄町 在中川)
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	ごのような効果 きるだけ指標と	護岸の改修及び水門の設備設置を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができる。

#### CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、 理由事前の改修することは必要。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事 0 前の改修は必要であるが道路事業に比べ事業費が極端に少ない。 × 削減の余地があった

事業内容の方向性	事業内容の方向性							
A 現状維持	河川笠田は、沙北、吐災に加えて「土日の種の人中ござの中間」」							
A B 内容の見直し								
C 統廃合·休止·終了	この正論が 外のられては 八文は 6日日からの時か が女。							
事業規模の方向性								
A 事業拡大	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事							
A B 現状維持	理由業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、							
C 事業縮小	管理の状況報告も求められている。							
	A 現状維持 A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持							

١	j	歳出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
И		13	1,439		国庫支出金					
1		15	12,958		府支出金					
		17	470	財	起債					
	予算科目	22	1,075	源内訳	分担金·負担金					
					その他					
					一般財源		15,942			
	事業費合計		15,942		合計		15,942			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 03
 02
 01
 02

 細事業名
 河川維持補修事業

担当部局 建設部 担当課等 担当課長の氏名 土木課 川戸孝和 担当者の氏名 大木保人 整理番号 31-5

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	 Ⅵ うるおい安全都市 ③ 河川・海岸・港湾の整備			大木保人
(前别圣本时四)	施策方針	1 河川・海岸の整備	•		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	を未然に防止するため、土砂の堆積、堤体の欠損等により通水阻害 川 施設の維持管理を行う。		(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

DO		,	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	市管理河川2路	線において、護岸の修繕工事を実施した。 (弥栄町 木橋川、久美浜町 新町川)
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)		護岸の修繕を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができた。

#### CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、 理由事前の修繕管理は必要。 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事 ▲ 少し削減の余地があった 0 理由前の修繕、管理計画が必要で、道路事業に比べ事業費が極端に少な × 削減の余地があった

			<u> </u>					
事業	事業内容の方向性							
	A 現状維持	理由	河川管理は、治水・防災に加えて、「市民の憩いと安らぎの空間」としての整備が求められており、更なる計画的な修繕が必要。					
Α	B 内容の見直し							
	C 統廃合·休止·終了							
事業規模の方向性								
	A 事業拡大		管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、					
Α	B 現状維持							
	C 事業縮小		管理の状況報告も求められている。					
	A 事業	A 現状維持         A B 内容の見直し         C 統廃合・休止・終了         事業規模の方向性         A 事業拡大         A B 現状維持	A 現状維持       理由         C 統廃合・休止・終了       事業規模の方向性         A 事業拡大       B 現状維持         理由       理由					

١	歳出			歳入						
	予算科目	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		11	899	洒	国庫支出金					
1		14	17		府支出金					
		15	4,775		起債					
					分担金・負担金					
					その他					
					一般財源		5,691			
	事業費合計	<b>工業費合計</b> 5,691			合計	5,691				

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 08
 04
 02
 02
 02

 細事業名
 内水処理対策事業

 担当部局

 建設部

 担当課等
 担当課長の氏名

 土木課
 川戸孝和

 担当者の氏名

 大木保人

整理番号 34-14

一 PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ⑥ 上下水道の整備			大木保人
(前別坐不可四)	施策方針		5 都市下水路の整備			
	(どのような目的で事業を実施するか)	網野町浅茂川 <sup>は</sup> 対策を実施する	T浅茂川地区において、公共下水道汚水対策と併せ、雨水を対象とした内水 実施する。		(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)	

# PR (何を対象に、何を対象に、何をしたか) 日本下水道事業団へ委託し、内水処理施設の実施設計及び施設の用地購入を行う。 平成21年度 事業の効果 (実績により、どのような効果 かあったか。できるだけ指標と数値で記入)

#### **CHECK** 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている 理由できる。 事業を継続的に実施することにより、浸水被害の減少等を図ることが 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 近年、毎年のように浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期 0 に事業を完成させ、被害の軽減を図らなければならない。 × 削減の余地があった

			<u> </u>				
事業内容の方向性							
	A 現状維持	理由	近年、毎年のように浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期 に事業を完成させ、被害の軽減を図らなければならない。				
Α	B 内容の見直し						
	C 統廃合·休止·終了						
事業規模の方向性							
А	A 事業拡大	理由	毎年、浸水被害が発生しており、継続的に、また、早期に事業を完けさせ、被害の軽減を図らなければならない。事業拡大は必要。				
	B 現状維持						
	C 事業縮小		こと、「以日の共派と四つないがのなっても、「本人」四人になる。				
	A 事業	A 現状維持         A B 内容の見直し         C 統廃合・休止・終了         事業規模の方向性         A 事業拡大         A B 現状維持	A 現状維持       理由         B 内容の見直し       理由         C 統廃合・休止・終了       事業規模の方向性         A 事業拡大       B 現状維持         B 現状維持       理由				

	●十次21年及次昇									
	歳出			歳入						
	予算科目	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		2	1,270	財源内訳	国庫支出金	浸水対策下水道事業費	23,000			
		11	142		府支出金					
		13	24,354		起債	都市下水路整備事業債	21,800			
		14	140		分担金•負担金					
		17	20,115		その他					
					一般財源		1,221			
	事業費合計 46,021		合計		46,021					